

フジカ濾水機

(東京)

**水泳プール・浴場の安心安全を支える！
ろ過装置のリーディングカンパニー**

季

節は次第に夏へと向かっている。小中学校では、子ども達が楽しみに待っているプール開きの時期になってきた。

今回「会社の流儀」が目するフジカ濾水機株式会社(蓬田成男社長)は、そのプールを安心安全に使用するために欠かせない「ろ過装置」専門メーカーだ。「当社の装置の扱いも含め、日常的なプール管理は体育の先生が行うことが多い。もちろん管理のプロではありません。私達は関東一円を中心に、いつでも



蓬田 成男 社長

駆け付けられる体制を整えています」(蓬田社長)

50数年にわたり、水泳プール循環浄化装置をはじめ、浴場用循環浄化装置や災害時飲用ろ過機、雨水・中水用ろ過装置など、設計から製造、販売、保守まで一貫して手掛ける。公立の小中学校のプールでの納入実績が多く、事業の中で約70%のシェアを占める。現在取引がある場所だけで、1000カ所以上になる。製造しているろ過機は主に、「珪藻土式」「砂式」「カートリッジ式」の3方式だ。水質や使用環境などによって選択する。特に「珪藻土式ろ過装置」を作る国内メーカーは少なく、同社の強みとも言える。「コンパクトですが大容量の水をろ過できること、微

細なるろ過が可能でより水をきれいにできることが、珪藻土式のメリット。また、ろ過網にコーティングする技術が秀でているのも当社の優位点です」(蓬田社長)

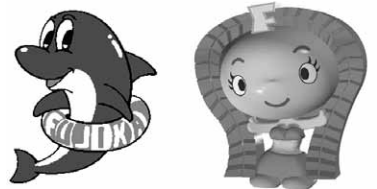
現在の主力製品「プール用珪藻土式ろ過装置PF型」は、埼玉県川口市の商工会議所が主催する「川口iimonobrand」の、平成24年度認定製品にも選ばれた。同市の「ものづくり力」を象徴する企業・製品として評価された結果だ。

「川口iimonobrand」時代のニーズに定める企業に

社名は前身のフジカ(旧社名「富士文化工業」)に由来する。石油ストーブブランドとして一世を風靡し、現在はリバイバル版がレトロな魅力で人気を博している



全自動珪藻土式ろ過装置PF-A



同社のイメージキャラクター。(左)イルカの「フィル太」。(右)新キャラクターの「カナロア」

る「フジカ・ハイベツト」。これを主幹事業としていたが、ストーブは冬だけなので、夏場の商材をと始めたのが今のプールなどの水処理事業。その部門が独立する形で同社は設立された。

また、同社は2つのイメージキャラクターを制定している。イルカの男の子「フィル太」と、ハワイの言葉で「水の神」の名前を持つ女の子「カナロア」だ。幅広い層の人々に、同社の事業内容やその社会的意義が伝わるきっかけになればという想いが込められている。蓬田社長は現状を踏まえ、次のように展望を話す。「少子化が進み、公立の小中学校の統廃合も進んでい

く。設備の数よりもその分、一つひとつの学校に性能が良い設備や質の高いアフターフォローを提供する企業が必要とされると考えます。このニーズに定める企業であり続けたいですね」(加)

【会社データ】
本社 東京都豊島区東池袋5-39-15
TEL 03-3988-7106
川口工場 埼玉県川口市元郷2-3-32
設立 1974年12月
資本金 1000万円
事業内容 水泳プール循環浄化装置・浴場用循環浄化装置・災害用飲用ろ過機などの設計・製造・販売・保守
<http://www.fujikarosuki.com>